

回復に転じた中国の輸入

— 投資財比率が高い日本からの輸入は低迷 —

- (1) 中国では、2012年末から輸入の増勢が加速（図表1）。景気対策により、景気が持ち直しに転じたことが背景（図表2）。
- (2) もっとも、地域別にみると大きな違い。NIEsやASEAN、米国などからの輸入は急増しているものの、日本とEUからは弱含み（図表3）。これは、足元の回復パターンを反映した動き。すなわち、固定資産投資の抑制スタンスが続くなか、投資財の比率が高い日本・EUからの輸入が減少した一方（図表4）、輸出と個人消費の持ち直しに支えられて、生産財・消費財の比率が高いNIEs・ASEAN・米国からの輸入は着実に拡大。
- (3) 今後を展望すると、景気対策効果により中国の成長率が徐々に高まると予想されるなか、輸入の増勢は続き、日本からの輸入も早晚増加に転じる見込み。もっとも、過剰生産能力を警戒する政策スタンスが続くため、投資財の需要が急拡大する可能性は低く、日本からの輸入は緩慢な回復にとどまる見通し。

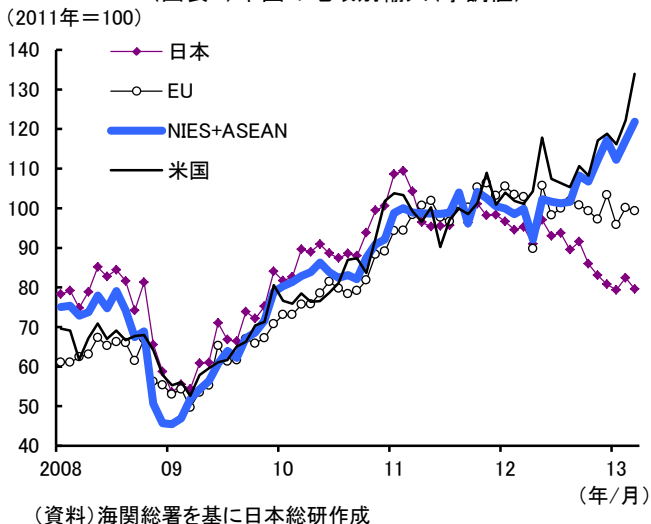
(図表1) 中国の輸入(季調値)



(図表2) 中国の実質GDPと輸入(前年比)



(図表3) 中国の地域別輸入(季調値)



(図表4) 輸入額に占める産業用機械のシェア

